



## 適正使用のお願い

### ◎ブスコパン注20mg(一般名:ブチルスコポラミン臭化物)＜鎮痙剤＞

消化管検査時に本剤を投与された患者さんにおいて死亡例を含むショックの症例が報告されています。本剤の使用に際しては特に以下の点に十分ご注意ください。

＜ショック・アナフィラキシー症状について＞

- ①患者さんに十分な問診を行ってください。
- ②救急処置の準備を行ってください。
- ③投与後は患者さんを十分観察してください。
- ④異常が認められた場合は、直ちに処置を行ってください。

### ◎ビ・シフロール錠0.125mg、0.5mg(一般名:プラミペキソール塩酸塩水和物)

＜ドパミン作動性パーキンソン病治療剤・レストレスレッグス症候群治療剤＞

### ◎ミラペックスLA錠0.375mg、1.5mg(一般名:プラミペキソール塩酸塩水和物)

＜ドパミン作動性パーキンソン病治療徐放性製剤＞

患者さんに本剤の突発的睡眠及び傾眠等についてよく説明し、本剤服用中には、自動車の運転、機械の操作、高所作業等危険を伴う作業に従事させないように注意してください。

### ◎ラジカット点滴静注バッグ30mg(一般名:エダラポン)＜フリーラジカルスカベンジャー＞

高度な意識障害(JCS100以上)のある患者、感染症を合併した患者への投与に際しては、リスクとベネフィットを十分に考慮してください。感染症を合併し抗生物質を併用した場合には、投与継続の可否を慎重に検討し、投与を継続する場合は特に頻回に検査を実施してください。

＜臨床検査間隔の目安＞

本剤投与時には、以下の検査間隔を目安にして肝機能検査、腎機能検査、血液検査の頻回な実施をお願いします。

検査頻度の例示	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	終了後
「頻回」な検査*1	●		●				●			●				●	
「特に頻回」な検査*2	●		●		●		●		●		●			●	●

注：14日以内に投与中止又は終了した場合は、中止又は終了時に検査する。終了後の検査は医師が必要なしと判断するまで継続観察する。

\*1：投与開始時を含め週に3回又はおおむね2日おきの頻度

\*2：1日おきまたはそれ以上の頻度

### ◎ラピアクタ点滴静注液バッグ300mg(一般名:ペラミビル水和物)＜抗インフルエンザウイルス剤＞

### ◎リレンザ(一般名:ザナミビル水和物)＜抗インフルエンザウイルス剤＞

因果関係は不明ではあるものの、本剤を含む抗インフルエンザウイルス薬投与後に、異常行動等の精神・神経症状を発現した例が報告されています。異常行動による万が一の事故を防止するための注意喚起をお願いします。

## テノゼット錠通常出荷再開のお知らせ

### ◎テノゼット錠300mg(一般名:テノホビルジソプロキシルフマル酸塩)＜抗ウイルス化学療法剤＞

2015年8月12日に発生した中国天津滨海新区倉庫爆発事故により、グラクソ・スミスクライン天津工場が被災し、日本市場へのテノゼット錠の製造・出荷が停止していたが、海外で製造販売されている同一有効成分の製造を国内でテノゼット錠として提供することが可能となりました。これに伴い、包装および錠剤の刻印と色が変更となります(色：白色→うすい青色、識別コード：GSK300→GILEAD4331 300)。

## ★平成26年シーズンのインフルエンザワクチン接種後の副反応報告について

平成26年10月1日から平成27年6月30日までのインフルエンザワクチンの副反応報告状況について、その概要を紹介する。本報告状況は平成27年11月27日に開催された平成27年度第16回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会及び平成27年度第6回薬事・食品衛生審議会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）で報告された。

## ★抗インフルエンザウイルス薬の安全性について

平成27年11月6日開催の安全対策調査会で報告された、オセルタミビルリン酸塩等の抗インフルエンザウイルス薬投与後の異常行動発現に係る報告状況について、概要を紹介する。また、ラニナミビルオクタン酸エステル水和物及びザナミビル水和物について、平成27年8月6日に使用上の注意の改訂を指導したが、根拠症例の概要等に関する情報を含め、改訂内容を再度周知する。

## ★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち重大な副作用等について、改訂内容等を紹介する。

### ◎レンパチニブメシル酸塩（商品名：レンビマcap4mg、10mg）＜抗悪性腫瘍剤＞（緊急購入薬）

【慎重投与】頸動脈・静脈等への腫瘍浸潤のある患者

#### 【重要な基本的注意】

本剤投与中に腫瘍縮小・壊死に伴い、頸動脈露出、頸動脈出血、腫瘍出血があらわれることがある。また、頸動脈露出部位や皮膚瘻形成部位より大量出血した例が認められており、気管瘻や食道瘻を形成している場合には、咯血や吐血のおそれがある。本剤投与前には頸動脈・静脈等への腫瘍浸潤を十分確認するとともに、本剤の投与期間中は患者の状態の観察や瘻孔形成の有無の確認を十分に行うこと。出血が認められた場合には、必要に応じて投与を中止し、適切な処置を行うこと。なお、甲状腺未分化癌患者では、頸動脈・静脈への腫瘍浸潤例が多いので、特に注意すること。

【重大な副作用】出血…腫瘍縮小・壊死に伴う頸動脈出血、腫瘍出血があらわれることがある。

※腫瘍縮小・壊死に伴う頸動脈露出、頸動脈出血、腫瘍出血関連症例：5例（うち死亡0例）

（平成27年5月～平成27年10月）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能。

## 禁忌追加のお知らせ

### ◎ベプリコール錠50mg（一般名：ベプリジル塩酸塩水和物）＜頻脈性不整脈・狭心症治療剤＞

【禁忌】サキナビルメシル酸塩、アタザナビル硫酸塩、ホスアンプレナビルカルシウム水和物、イトラコナゾール、テラプレビル、アミオダロン塩酸塩（注射）、エリグルスタット酒石酸塩

### ◎ベゲタミンA配合錠、B配合錠（一般名：クロルプロマジン塩酸塩・プロメタジン塩酸塩・フェノバルビタール）

＜精神神経用剤＞

【禁忌】タダラフィル（肺高血圧症を適応とする場合）、マシテンタン

## 販売中止のお知らせ

### ◎プロチンシロップ3.3%（一般名：桜皮抽出物）＜鎮咳去痰剤＞

在庫限りオーダ中止。

### ◎サンドスタチンLAR筋注用10mg（緊急購入薬）、20mg、30mg（緊急購入薬）（一般名：オクトレオチド酢酸塩）

＜持続性ソマトスタチンアナログマイクロスフェア型徐放性製剤＞

4月1日オーダ中止予定（代替薬：サンドスタチンLAR筋注用キット）。

### ◎メテルギン錠0.125mg（一般名：メチルエルゴメトリンマレイン酸塩）＜子宮収縮止血剤＞

4月1日オーダ中止予定（代替薬：パルタンM錠0.125mg）。

## 効能効果追加のお知らせ

### ◎エピドー錠2.5mg(一般名:セレギリン塩酸塩)＜パーキンソン病治療剤＞

【効能・効果】パーキンソン病（レボドパ含有製剤を併用しない場合：Yahr重症度ステージⅠ～Ⅲ）

※単独投与が可能となりました

【用法・用量】1日1回2.5mg朝食後から始め、2週ごとに1日量として2.5mgずつ増量し、1日10mgとする。1日量が5.0mg以上の場合は朝食及び昼食後に分服。ただし、7.5mgの場合は朝食後5.0mg及び昼食後2.5mgを服用する。適宜増減、1日10mgを超えないこと。

### ◎エリキュース錠2.5mg、5mg(一般名:アピキサパン)＜FTXa阻害剤＞

【効能・効果】静脈血栓塞栓症（深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症）の治療及び再発抑制

【用法・用量】1回10mgを1日2回、7日間投与後、1回5mgを1日2回投与。

### ◎プレドニゾン錠1mg(旭化成)(一般名:プレドニゾン)＜合成副腎皮質ホルモン剤＞

【効能・効果】悪性リンパ腫（リンパ肉腫症、~~細網肉腫症、ホジキン病、皮膚細網症、菌状息肉症~~）及び類似疾患（近縁疾患）

【用法・用量】悪性リンパ腫に用いる場合、抗悪性腫瘍剤との併用において、1日量100mg/m<sup>2</sup>まで投与できる。

### ◎レブラミドcap5mg(一般名:レナリドミド水和物)＜抗造血器悪性腫瘍剤＞

【効能・効果】~~再発又は難治性~~の多発性骨髄腫

### ◎レミケード点滴静注用100(一般名:インフリキシマブ(遺伝子組換え))＜抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤＞

【効能・効果】既存治療で効果不十分な川崎病の急性期

【用法・用量】5mg/kgを単回点滴静注

## 販売名変更・包装変更等のお知らせ

### ◎アスルダム配合注1mL(一般名:肝臓エキス・フラビンアデニンジヌクレオチドナトリウム)＜肝臓抽出製剤＞

販売名変更：アスルダム注1mL→アスルダム配合注1mL

### ◎エルプラット点滴静注液50mg、100mg(一般名:オキサリプラチン)＜抗悪性腫瘍剤＞

バイアルラベル、樹脂製プロテクター、天面ラベル等変更。

### ◎ジェービックV(一般名:乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン)＜ウイルスワクチン類＞

キャップ、バイアル、ゴム栓変更。

### ◎5FU注250mg、1000mg(一般名:フルオロウラシル)＜抗悪性腫瘍剤＞

バイアル形状（樹脂台座）等変更。

### ◎バクトラミン注(一般名:トリメプリム・スルファメキサゾール)＜カリニ肺炎治療剤＞

アンプルカラーリング変更。

### ◎生理食塩液PL「フソー」2000mL(一般名:生理食塩液)

包装変更。

### ◎イグザレルト錠10mg、15mg(一般名:リバーロキサパン)＜選択的直接作用型第Xa因子阻害剤＞

### ◎エリーテン錠5mg(一般名:メクロプラミド)＜消化器機能調整剤＞

### ◎カロナール錠200mg(一般名:アセトアミノフェン)＜解熱鎮痛剤＞

### ◎ヒルナミン錠25mg(一般名:レボメプロマジンマレイン酸塩)＜精神神経用剤＞

### ◎フォシーガ錠5mg(一般名:ダパグリフロジンプロピレングリコール)＜2型糖尿病治療剤＞

### ◎フラジール内服錠250mg(一般名:メロニダゾール)＜抗原虫剤＞

### ◎メサペイン錠5mg(一般名:メサドン塩酸塩)＜癌性疼痛治療剤＞

PTPシートデザイン変更。

## 製造販売承認承継等のお知らせ

薬品名	変更前		変更後
コロナール細粒20%	販売：あゆみ製薬株式会社 製造販売元： 昭和薬品化工株式会社	→	製造販売元：あゆみ製薬株式会社 (2016年1月5日)
コロナール坐剤			
コロナール錠200			
リマチル錠100mg	販売：あゆみ製薬株式会社 製造販売元：参天製薬株式会社		
フェマール錠2.5mg	販売：中外製薬株式会社 製造販売： ノバルティスファーマ株式会社	→	販売・製造販売： ノバルティスファーマ株式会社 (2016年2月1日)

## オーダー中止のお知らせ

オーダー中止日	薬剤名	理由
2015. 12. 22	オイラックスHクリーム	ドボベツト軟膏採用のため
2015. 12. 28	マーズレンS配合顆粒	モビプレップ配合内用剤採用のため
	ステーブラOD錠0.1mg	ミッドペリック135 腹膜透析液2.0L採用のため
2016. 1. 8	キックリンcap250mg	ミッドペリック250 腹膜透析液2.0L採用のため
2016. 1. 18	アルサルミン細粒90%	コペガス錠200mg採用のため

## 横浜市立みなと赤十字病院から研修に来られました

1月25日(月)から1月29日(金)まで横浜市立みなと赤十字病院より薬剤師1名がDI業務を中心に薬剤業務研修を行っています。病棟を訪れる機会もありますので、その節はよろしくお願ひします。

本年もよろしくお願ひ致します

